

## G8 および G20 に向けたセーブ・ザ・チルドレンの政策提言

世界に潜む「栄養不良問題」への取り組みに向けた二つのサミット  
～世界の飢餓と栄養不良に終止符を打つために～

世界の首脳たちが次から次へと降りかかる経済危機への対応に追われる中、何百万人もの子どもたちを襲った飢餓と栄養不良の問題はこれまで見過ごされてきました。世界が何年にもおよぶ経済不安を経験している中、世界中に蔓延している慢性的な栄養不良により、何百万人もの子どもたちの可能性が打ち砕かれ、ゆっくりと世界経済の基礎が蝕まれています。

2012年のG8およびG20の両首脳国会議は、食料安全保障問題への大きな突破口を開く機会となります。私たちは既に世界の栄養不良を削減する解決策を知っていますが、それらを機能させるには政治的コミットメントと強いリーダーシップが求められています。世界経済危機と栄養不良問題の同時危機に対して、栄養不良への対応策、栄養に重点を置いた農業、そして社会的セーフティネット構築への追加投資が必要とされています。G8およびG20各国による早期の対策と強いリーダーシップにより、飢餓と栄養不良の問題に終止符を打つ歴史的な一歩に向けた基盤を築くことができます。

### 栄養における課題

栄養不良問題は決して新たな問題ではなく、解決に向けてゆっくりと進展を遂げてきました。例えば、栄養不良率は過去20年<sup>1</sup>の間で年間平均約0.6%削減されており、また、近年は解決に向けたコンセンサスの構築と栄養不良問題削減に向けた政治的意思の醸成が見られるなど、大きく改善しました。

気候変動、食料価格の変動、経済の不安定さ、人口移動など、世界の諸傾向が相まって、栄養不良削減に向けた将来的な進捗は危機に直面しています。もし現状の傾向が続いた場合、セーブ・ザ・チルドレンの推定によると、今後15年間で4.5億人の子どもたちが栄養不良を原因とする「発育阻害」により、脳や身体に不可逆的損傷を受け苦しむこととなります<sup>2</sup>。

世界経済の減退が2012年および2013年にも継続した場合、状況は更に悪化するでしょう。近年の世界経済危機は、過去最高を記録した食料価格の高騰を伴い、1億人以上の人々を新たに貧困に追いやり、これらの人々は栄養価の高い食料を入手できなくなりました<sup>3</sup>。多くの途上国が2008-09年の経済危機から比較的早く回復しましたが、危機発生時に要した対応により、現在、それらの国の多くに経済的余裕がなくなっており、貧困家庭を保護する予算などもなく、世界経済の急激な悪化に対して脆弱な状態となっています<sup>4</sup>。

G8およびG20各国は、この世界経済の動乱期において舵取りをする重要な役割を果たすことが求められます。これらの国々は、最も貧しく脆弱な家庭を世界経済危機の影響から保護すべきであり、隠れた危機である「栄養不良問題」に対応するための世界的な食料安全保障に向けた持続可能なアプローチを取るべきです。栄養不良は途上国の国内総生産の2-3%を犠牲にしており<sup>5</sup>、既述のアプローチは経済的観点からも理にかなっていません。栄養不良の削減は、強く持続可能で、かつバランスのとれた成長を遂げるためのG20の主要課題でもあります。

### ラクイラ・イニシアティブ後のモメンタムを維持する

2009年のラクイラG8サミットで示された世界食料安全保障に向けた歴史的コミットメントが2012年に期限切れとなりますが、飢餓問題はまた解決に至っていません。ドナー各国はラクイラ・イニシアティブでの全コミットメントを達成すべきであり、同イニシアティブで資金がどのように使われ、どのような結果を達成したのかを明確にする包括的な報告書を出すべきです。

農業と栄養不良問題への20年分の投資不足を取り戻すには、ラクイラ食料安全保障イニシアティブによるわずか3年間の支援では足りません。食料安全保障が再び最優先議題にあがる2012年のキャンプ・デー

ービッドでの G8 サミットは、持続的な食料および栄養安全保障のための長期的な取り組みとパートナーシップを確保する大変重要な機会となります。

ラクイラでもたらされたモメンタムを維持するため、セーブ・ザ・チルドレンは G8 各国に対し、新たな世界食料および栄養安全保障イニシアティブを打ち出すことを求めます。ただし、新たなイニシアティブは、栄養不良削減をより優先的な課題とすべきです。

私たちは G8 に以下を求めます：

- 発育障害削減に向けた新たなグローバル目標設定への合意。また、国レベルでの目標達成に向けた進捗確認。
- 「栄養改善拡充のための枠組み(SUN : Scaling Up Nutrition Framework)」の支持<sup>6</sup>。
- 新たな世界食料および栄養安全保障イニシアティブの下、直接的な栄養対応策に向けた相当規模の資金的コミットメントおよび拠出。
- 発育障害を含む各目標および資金拠出に対する実施状況についての一年ごとの進捗確認および報告による透明性および説明責任の改善。

上記を受け、G20 には以下の行動を求めます：

- G8 がキャンプ・デービッドで示す新たな世界食料および栄養安全保障イニシアティブの支持。また、「栄養改善拡充のための枠組み(SUN : Scaling Up Nutrition Framework)」の支持。
- 自国の農業大臣に対し、家庭における栄養を効果的に改善できる農業政策および農業手法について 2013 年のサミットで提言できるよう取りまとめるよう指示。
- 低所得国が危機発生時に貧しく脆弱な人々を保護するための社会保護システムを構築し、発展させ、資金投入できるよう支援。

### **栄養不良：隠れた危機**

毎日毎時、300 人の子どもたちが栄養不良で亡くなっています。栄養不良は、世界の子どもの死亡の約 3 分の 1 にあたる年間 260 万人の子どもの死亡の間接的要因となっています。しかし、栄養不良は死亡診断書に記録されることはなく、その結果、必要な対策がなされていません。たとえ生存している子どもたちであっても、長期的な栄養不良は破壊的、かつ回復不可能なダメージを子どもたちにもたらします。栄養価の高い食料の不足は、感染症や病気への罹患と相まって身体や脳の適切な成長を妨げます。少なくとも 1.7 億人の子どもたちが発育障害の影響を受けています。これは、年齢に応じて身長が伸びていないというだけでなく、就学時期の遅れや学力の遅れが見られる可能性が高いということです。幼少期の栄養不良は生産性の低減とも関係しており、発育障害の子どもたちが成人した時、通常に成長した子どもたちと比較すると約 20%も収入が低くなると予測されています。また、栄養不良問題は、途上国の国家歳入の 2-3%減を招くと推定されています<sup>8</sup>。

### **解決策について**

栄養不良の危機にある子どもたちや家族に対する解決策は既によく知られており、栄養の専門家にも十分に支持されているものです。妊娠から 2 歳になるまでの 1,000 日間の栄養対応策が、子どもの健康を守る最も効果的な方法の一つです。2008 年には 5 名のノーベル賞受賞者を含む 8 名の著名な経済学者が、栄養不良削減が最良の開発投資であるとの合意に至りました<sup>9</sup>。

完全母乳育児やサプリメント摂取、食料の栄養強化等、知られている直接対応策に加え、飢餓や栄養不良削減においては農業が重要な役割を果たせる可能性があります。これまで、農業政策およびプログラムの

目的は、主要作物や高価な農園作物の生産高向上にあるのが常でした。しかし、食料の増産だけでは子どもたちの生命を守ることはできません。農業生産高の向上がそのまま栄養改善につながるわけではないのです。

子どもたちやその家族の栄養改善に向けて農業が持つ可能性については、未だに十分に研究され、実施・優先されてはいません。複数の研究結果によると、栄養改善を農業プログラムの明確な目的として据えた場合、食料の量・質、また入手のしやすさがともに向上することが分かっています。飢餓と栄養不良削減において農業が持つ可能性を発揮させるため、食料および農業分野では栄養に重点を置いた政策を優先的に扱う必要があります。

農業、食料安全保障および栄養を統合させる戦略に向けた機運は高まりつつあるものの、国際レベル、国家レベル双方でより一層の対応が求められています。農業政策や農業プログラムの目的に栄養を加えるなど、今すぐ取り組めることはいくつかあります。しかし、農業プログラムが栄養不良削減に与える影響について確かなる証拠を得るには、そして成功例を大規模に展開するための最良の手法や戦略を見つけるためには、更なる研究が必要です。

### 行動を起こすとき

過去 20 年にわたり、発育障害は世界で毎年わずか 0.6%しか削減されておらず、今求められているのは行動を起こすことです。今年の G8 および G20 において、農業と栄養の両分野の連携により飢餓および栄養不良に終止符を打てるよう、参加各国の大きな後押しが必要です。

栄養不良の問題においては、世界中の関係機関や政府を触発し、団結させ、そしてその指針となるような世界的な指標や共通の目標がありません。発育障害の子どもの割合を測るような世界的指標があれば、政府やその他の関係機関は、この栄養に関する重要な指標が進展を遂げるよう共に連携するでしょう。これは、世界的機関であっても地域の市民社会団体であっても、全関係者が達成に向けて共に取り組める目標となります。

セーブ・ザ・チルドレンは、万人のための栄養と食料安全保障を優先事項とし、何百万人の子どもたちの命を救うよう、そしてより安定した持続可能な経済発展を遂げるよう、今こそ世界の首脳たちに行動を起こすことを求めます。

### セーブ・ザ・チルドレンは G8 に求めます:

- 「ラクイラ食料安全保障イニシアティブ」の公約の完全達成
- 「ラクイラ食料安全保障イニシアティブ」を引き継ぐ新たな世界食料および栄養安全保障イニシアティブを打ち出し、より栄養に重点を置いた以下の取り組みを実施:
  - 発達障害の削減のための新たな世界的目標の導入と、国家レベルでの達成状況の進捗確認。
  - 「栄養改善拡充のための枠組み(SUN : Scaling Up Nutrition Framework)」の支持。
  - 新たな世界食料および栄養安全保障イニシアティブの下、直接的な栄養対応策に向けた大規模な資金的コミットメントおよび拠出。
  - 発育障害を含む各成果目標および資金拠出に対する実施状況についての一年ごとの進捗確認および報告による透明性および説明責任の改善。

さらに G20 各国も、多数の国が 2009 年のラクイラ・イニシアティブを支持し、農業大臣による対話の場を提供するなど、重要な役割を担っています。2011 年に、G20 は「全世界において栄養を視野に入れた農業政策を開発する」と約束しました<sup>10</sup>。その約束を受けて、G20 は 2012 年にどのようにそれらを実施し、かつその中でより栄養改善につながる農業が実施されるよう取り組む G8 の動きを補完的にサポートできるかを特定することが求められます。

## セーブ・ザ・チルドレンは G20 に求めます:

- 「ラクイラ食料安全保障イニシアティブ」を引き継ぐ取り組みとして、栄養により重点を置いた新たな世界食料および栄養安全保障イニシアティブの確立に向けた G8 各国首脳との協働。
- 自国の農業大臣に対し、家庭における栄養を効果的に改善できる農業政策および農業手法について 2013 年のサミットで提言できるよう取りまとめるための指示。

## 経済危機

国際通貨基金や他機関が 2012 年の経済予測を大幅に下方修正しており、また、ヨーロッパの不況が二番底に突入する中、世界は栄養不良によりかかる経済コストをこれ以上負担することができません。

開発途上国は世界銀行に、2008-09 年と同様の世界経済危機への準備をするよう助言されています<sup>11</sup>。また、2011 年、史上最高値を記録した食料価格の高騰により、40 万人もの子どもの命が危険に晒されてきました<sup>12</sup>。

ヨーロッパや主要経済新興国における秩序の回復と成長は重要ですが、ヨーロッパにおける危機は低所得国にも広がると予想されています<sup>13</sup>。貿易や世界金融、人口移動などを通じて繋がっている世界において、重要なのは、経済下降や食料価格の高騰や変動から脆弱な人々を保護するため、未だに 2011 年の食料価格高騰の煽りを受けている低所得国を支援する政策やプログラムの導入です。もしこのような支援がなされなければ、貧困削減や保健改善、長期的経済成長への基盤強化などにおける今日までの多大な進展が危険に晒されることとなります。

## 貧困層を保護する

メキシコ大統領であり、2012 年度の G20 開催国首脳であるフェリペ・カルデロン氏は、G20 が世界経済の立て直しと共に貧困撲滅に取り組むことの重要性をダボス会議で確認し、経済調整の一環としてメキシコの条件付き現金給付スキームである「Oportunidades」などを例にとり社会保護プログラムの重要性を強調しました<sup>14</sup>。

ダボス世界経済フォーラムの国際アドバイザリー・ボードである The Global Agenda Council は、雇用と社会保護について、開発途上国では社会保護の基礎を構築することが貧困削減と開発に向けた条件作りに必要不可欠であると指摘しています<sup>15</sup>。低所得家庭への現金給付は効果的に少ない経費で実施でき、子どもの栄養状況を即効および長期的に改善することができる他、国内需要の向上と世界経済の調整に貢献することができます。

世界の首脳は「ラクイラ食料安全保障イニシアティブ」において、最も貧しく脆弱な人々に長期的な食料安全保障をもたらすためには、長期的には政府主導かつ現金に基づいた社会保護システムと対象を定めた栄養の対応策が必要であるとの認識を示しました<sup>16</sup>。

また、短期的には、地域社会が危機に対応していくための社会的セーフティネットが重要です。とりわけ、食料価格が高騰したり不安定な時は、貧困世帯が継続して栄養価の高い食料を入手できるように、現金やバウチャー(引換券)、食料提供などの社会的セーフティネットが特に重要です。

## 社会的セーフティネットは機能する

アフリカの角において、何百万人の人々が今なお続く食料危機の影響を受けています。しかし、エチオピアやケニアの一部地域では、社会保護とセーフティネット・プログラムへの投資を含む防災対策を何年も講じてきた結果、その取り組みが功を奏しました。1,300 万人もの人々が干ばつの影響を受ける中、上記の地

域では国家と国際ドナーの共同の取り組みにより、何百万におよぶ人々が最悪の結果から免れることができました。

2011年8月にアメリカのヒラリー・クリントン国務長官が次のように述べました。「2002年と2003年にこの規模の干ばつがエチオピアで発生した時、1,300万人の人々が飢餓に見舞われました。今日においてはその数は500万人以下になっています。<sup>17)</sup>」

危機発生時に社会的セーフティネットを急速に拡大するためには、国内の社会保護システムを構築する必要があります。しかし、低所得国における社会保護の網羅率は未だに低く、世界銀行の推定によるとサハラ以南アフリカにおいては20%の家庭、南アジアにおいては30%強の家庭しかセーフティネットへのアクセスがありません。

世界銀行の緊急社会対応プログラムは、特に低所得国の社会保護システムの開発を支援するために制定されたプログラムです。しかし、このプログラムは既に多くの国々に適用されており、追加資金がなければこれ以上新たな国への支援を実施することができません。危機が発生した時の即時対応を可能とする基盤構築のためのこうした支援は、実際の危機発生時のプログラム拡大のための資金確保の方がより優先されているため、これまで重視されてきませんでした。

世界銀行の既存の資金を活用すれば、基盤の構築を可能とする方法は幅広くあります。この中には、緊急社会対応プログラムへの資金の再配分や、国の援助政策における社会保護の優先化、銀行の総収入のより多くの部分を低所得国の社会保護に向けるといったことが含まれます。G20は社会保護の優先化に向けた効果的な方法について、2013年に開始する世界銀行の譲許的融資を行う機関である国際開発協会の増資プロセスなどを通じて世界銀行に提案を求めるべきです。

メキシコ大統領が議長を務めるG20は、社会保護のギャップに焦点を当てる比類のない、かつ時宜を得た機会となります。G20の国々は、開発途上国政府と共有できる社会保護システムの大変貴重な経験を有しています。全ての政府が、脆弱な地域社会を守り、彼らの生活を改善するため、共に、そしてより一層の取り組みを行わなければなりません。これこそが現在および将来世代の経済安定につながる唯一の道だからです。

### **セーブ・ザ・チルドレンはG20に求めます:**

- 低所得国が危機発生時に貧しく脆弱な人々を保護するための社会保護システムを構築し、発展させ、資金投入できるよう支援するため、以下の取り組みを実施:
  - 世界銀行が運営する緊急社会対応信託基金への追加資金の提供。
  - 低所得国の社会保護システムの開発および改善のため、国際開発協会を通じた世界銀行の資金拡張策の選択肢の提示を世界銀行に依頼。
  - G20各国の社会保護、セーフティネットおよび関連財政メカニズムに関する経験を踏まえた低所得国向けの政策指針の開発。

## 脚注

---

- <sup>1</sup> *The Lancet*, 'Maternal and Child Undernutrition', Special Series, January 2008
- <sup>2</sup> Save the Children, *A Life Free From Hunger. Tackling child malnutrition*, February 2012
- <sup>3</sup> World Bank, 'Food price hike drives 44 million people into poverty', 15 February 2011, available at: <http://go.worldbank.org/OFGV8BZN20>; and World Bank, 'Crisis hitting poor hard in developing world, World Bank says', 12 February 2009, available at: <http://go.worldbank.org/PGNOX87V00>
- <sup>4</sup> World Bank, *Global Economic Prospects – January 2012: Uncertainties and vulnerabilities*, 2012
- <sup>5</sup> S Horton, 'Opportunities for investments in low income Asia', *Asian Development Review*, 17, 1999, pp 246–73; and S Horton, M Shekar, C McDonald, A Mahal, J Krystene Brooks, *Scaling Up Nutrition: What will it cost?* The World Bank, 2010.
- <sup>6</sup> *Scaling Up Nutrition: A framework for action*, 2011, available at: <http://unscn.org/files/Activities/SUN/PolicyBriefNutritionScalingUpApril.pdf>
- <sup>7</sup> S Grantham–McGregor, et al 'Development potential in the first 5 years for children in developing countries', *The Lancet*, 369: 60–70, 2007.
- <sup>8</sup> Horton *op cit*, and Horton et al *op cit*.
- <sup>9</sup> S Horton, H Alderman and J A Rivera (2008) *Hunger and malnutrition*, Copenhagen Consensus 2008 challenge paper, Copenhagen Consensus Center.
- <sup>10</sup> G20 Agriculture Ministers 'Action Plan on Food Price Volatility and Agriculture' June 2011. Available here: [http://www.g20-g8.com/g8-g20/root/bank\\_objects/ANG\\_20110623\\_PLAN\\_D\\_ACTION\\_AGRIL\\_vANG.pdf](http://www.g20-g8.com/g8-g20/root/bank_objects/ANG_20110623_PLAN_D_ACTION_AGRIL_vANG.pdf)
- <sup>11</sup> See, for example, the World Bank press release, 'World Bank projects global slowdown, with developing countries impacted', 18 January 2012, available at: <http://go.worldbank.org/MXG97J3RE0>
- <sup>12</sup> Save the Children, *Costing Lives: The devastating impact of rising and volatile food prices*, Save the Children, 2011
- <sup>13</sup> World Bank, *Global Economic Prospects – January 2012: Uncertainties and vulnerabilities*, 2012.
- <sup>14</sup> President Felipe Calderon remarks at the 2012 World Economic Forum, Davos. Available here: <http://www.youtube.com/watch?v=cyjQw1gGBxY&feature=relmfu>. See also BBC article: 'Davos 2012: Working to prevent a "lost generation"', 26 January 2012.
- <sup>15</sup> Global Agenda Council on Employment and Social Protection, *The Case for an Integrated Model of Growth, Employment and Social Protection*, 2012, available at: [http://www3.weforum.org/docs/WEF\\_GAC\\_CaseIntegratedModelGrowthEmploymentSocialProtection\\_Report\\_2012.pdf](http://www3.weforum.org/docs/WEF_GAC_CaseIntegratedModelGrowthEmploymentSocialProtection_Report_2012.pdf)
- <sup>16</sup> L' Aquila Joint Statement on Global Food Security, available at: [http://www.g8italia2009.it/static/G8\\_Allegato/LAquila\\_Joint\\_Statement\\_on\\_Global\\_Food\\_Security\[1\],0.pdf](http://www.g8italia2009.it/static/G8_Allegato/LAquila_Joint_Statement_on_Global_Food_Security[1],0.pdf)
- <sup>17</sup> US Secretary of State Hillary Clinton, 'Remarks on the food crisis in the Horn of Africa', speech to the International Food Policy Research Institute, 11 August 2011, available at: [www.state.gov/secretary/rm/2011/08/170417.htm](http://www.state.gov/secretary/rm/2011/08/170417.htm)